

特定非営利活動法人スサノオの風

平成29年度事業報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日

① はじめに

スサノオの風は、平成15年6月に設立されて以来、15年が経過しました。設立当時は、文化・体育施設の管理運営が主であり、文化・体育活動の融合をとおして佐田町の活性化を図ることを法人使命として掲げていました。その後、行政合併・指定管理者制度導入、障がい者福祉サービス・高齢者介護予防事業の展開など、活動範囲が拡大してきました。

29年度からは、島根県から「小さな拠点 中間支援事業」を受託し、佐田地域での地域振興の一助を図っていくことになりました。法人の事業内容は、時代の流れの影響を受けながら少しずつ変化しています。

また、佐田町の人口減少の勢いは、留まることなく進行し、住民一丸となった新たな地域創生の必要を感じる年にもなりました。

当法人は、法人使命の再確認のもと、将来図を理事、社員と一緒に協議し構築していく事の大切さを抱いたところです。このため、30年2月には、(公財)しまね定住財団の事業を受け、理事会研修を実施しビジョン等の研修を実施したところです。これは、30年度も継続して実施していく考えです。

② 基幹会議

1) 平成29年度総会

- 開催日 平成29年6月23日(金)午後7時から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 75名(うち委任状提出者 56名) 会員総数 96名
- 提出議案
 - ・平成28年度活動報告、平成28年度活動計算書の承認について
 - ・平成29年度活動計画(案)、平成29年度活動予算(案)について
 - ・定款変更について
 - ・平成29年度役員報酬額について

2) 理事会

【第1回理事会】

- 開催日 平成29年4月6日(木)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 8名 理事総数 9名
- 提出議案
 - ・平成29年度予算計画について
 - ・「中山間支援組織による地域支援業務」企画提案への応募について
 - ・平成29年度インターンシップ受入応募について

【第2回理事会】

- 開催日 平成29年6月13日（火）午後7時45分から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 8名 理事総数 9名
- 提出議案
 - ・定款の変更について
 - ・嘱託社員就業規則の一部を改正する規則について
 - ・パート社員就業規則の一部を改正する規則について
 - ・平成29年度総会提出議案について
 - ・組織図について
 - ・社員の募集について
 - ・会員継続意向調査の実施について

【第3回理事会】

- 開催日 平成29年10月25日（水）午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 8名 理事総数 9名
- 提出議案
 - ・社員の再募集について
 - ・公用車の更新について
 - ・社員使用のPCへのウィルスバスター導入について

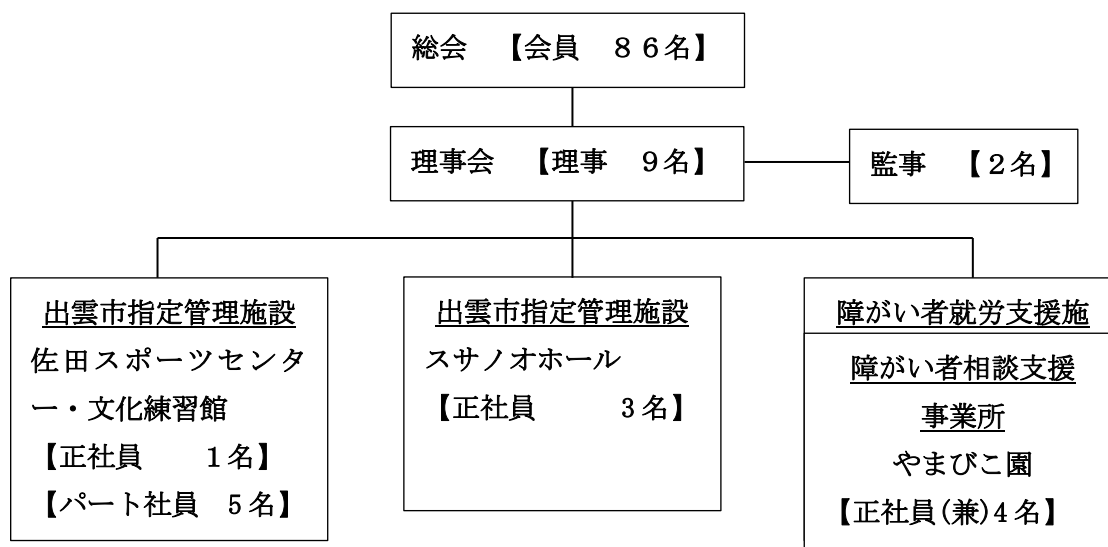
【第4回理事会・研修会】

- 開催日 平成30年2月15日（木）午後5時30分から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 6名 理事総数 9名 社員 4名
- 講師 (株)パブリコ 竹村舞葉さん
- 内容
 - ・組織使命等のワークショップ

【第5回理事会】

- 開催日 平成30年3月16日（金）午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 7名 理事総数 9名
- 提出議案
 - ・就業規則の改正について
 - ・「朝日たたら」管理業務の受託について
 - ・平成30年度活動計画・予算（案）について
 - ・役員改選について

③ 組織体制（平成30年3月31日現在）



★平成29年度中の社員の推移

・平成29年4月1日現在社員数	8名
・平成29年度中退職社員数	1名
・平成29年度中採用社員数	1名
・平成29年度末社員数	8名

④ 各部門の事業概要

【スサノオホール】

スサノオホール利用者は、年々減少傾向にありましたが、29年度は行政機関のイベントの開催、旅行会社の利用などにより、平成28年度より大きく増加しました。しかし、これが一過性のものとならないよう利用促進の努力が必要とされています。

施設面では、空調機器の故障への不安、舞台設備の劣化への不安など多くの不安を抱きながら施設管理に対応してきました。こうした中、30年3月からステージ上の雨漏りが発生するなど屋上防水の劣化が顕著となりました。

管理者としても出雲市に対して修繕を強く要望していますが、財政事情から着手されていないのが現状です。

スサノオホールの自主事業として「おおたか静流ライブ～輪音」「劇団Yプロジェクト公演～ケータイ・クローン2018」初の試みとして「スサノオの里 こどもフェスティバル in さだ」など、親子対象を主として開催しました。しかし、地元佐田町からの来場者はわずかであり、スサノオホールの存在意義を薄くする結果となり、企画の再考が必要となりました。

年度	利用人数（人）	利用回数（回）	利用料金（円）
平成29年度	4,733	182	1,417,638
平成28年度	3,850	75	875,183
対前年比	883	107	542,455

【佐田スポーツセンター・文化練習館】

佐田スポーツセンターの利用は、佐田中学校部活動利用が平成28年末で終了し、全体的には減少傾向となりました。この中で、体育館では年間利用者1万人を掲げ、利用促進に力を入れてきました。結果、9,731人と28年度より1,443人増加することができました。

利用状況では、平日の昼間、土曜日の利用が少なく、対応策の必要性を感じています。出雲市の公共施設の見直し指針の発表以後、若者から「佐田スポーツセンター」の存続を望む声は依然として強く、体育館利用で体現してくれることは感謝すべき事であり、佐田地域全体への広がり必要性を強く感じたところです。

文化練習館は、須佐太鼓、むらくも座を中心に定期的に利用されました。また、営利団体の会議利用もあり、想定の使用料より1万円強の増収となりました。

なお、自主事業として、スローエアロビック教室などを開催しました。

- 1) スローエアロビック教室 39回開催 287名参加
- 2) フリースクール 7月～8月
- 3) フットサル3&3交流大会 10月1日 50名参加
- 4) スサノオの風杯バレーボール大会 10月15日 150名参加

★体育館・グラウンド

年度	利用人数（人）	利用回数（回）	利用料金（円）
平成29年度	12,169	794	1,592,390
内 体育館	(9,731)	(678)	(1,212,290)
平成28年度	14,951	749	1,876,098
対前年比	△2,782	45	△283,708

★文化練習館

年度	利用人数（人）	利用回数（回）	利用料金（円）
平成29年度	3,567	179	160,840
平成28年度	3,883	162	216,750
対前年比	△316	17	△55,910

【介護予防・健康づくり活動】

出雲市の委託を受け佐田地域を対象にした認知症予防教室事業も引き続き受託し、

29年6月から6か月間実施しました。なお、佐田地域での介護予防教室は、参加者の減少などにより、29年度末で廃止となりました。

出雲市市民協働事業の採択をうけ、介護認定を受けていない高齢者を対象に「ひなたぼっこサロン」をスサノオホールで実施しました。

	開催回数	参加延べ人数
認知症予防教室	21	189
ひなたぼっこサロン	17	135
佐田町内ふれあいサロン	1	30
計	39	354

【障がい者福祉事業】

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、利用者の変動があったものの、軽作業量の安定化もあり順調な運営が続きました。また、農事組合法人橋波アグリサンシャイン、満寿ファームの協力を得、ハウレンソウ・菌床シイタケ収穫の作業を始めることができ、「農福連携」を着実に歩むことができました。

今後は、利用者の高齢化もあり、新たな利用者の増加が必要となっています。

また、障がい者相談支援事業会計を活用し、平成15年に佐田ライオンズクラブから寄贈をいただいた社用車（ホンダ ライフ）の更新を行い、本部での事業に利用しています。

【小さな拠点 中間支援事業】

国の地方創生の柱の一つであり、島根県の中山間地域振興重要政策の「小さな拠点づくり」を推進するための支援組織として、29年6月に島根県から指定を受けました。

事業展開にあたっては、島根県、島根県中山間地域研究センター、出雲市の指導を受けながら進めてきましたが、知識・スキルもない中で「佐田を元気にしたい」その思いのみで、取り組んできました。

事業的には、窪田コミセンの「地域づくりリーダー養成講座」への支援、先進地視察、講演会と大きな成果は残すことは、出来ませんでした。「1歩」は踏み出せたと確信しています。なお、野村総合研究所から事業調査に入られたことは、少しの自信となりました。

【その他の事業】

佐田町文化協会事務局、出雲市体育協会佐田支部の事務局、第3回佐田やまびこ健康マラソン大会の支援を実施しました。

出雲市から委託を受けているレンタサイクル事業は、167台（28年度 163台）の貸出を行いました。

また、若手社員によるフェイスブックの活用により、法人への「いいね」が120人を突破するなど、PRに大いに活用されています。

【財政状況】

29年度の経常収益は、59,407,538円（対前年比 3,251,307円増）となりましたが、この要因としては障がい者福祉サービスの報酬が課税対象となり、14か月分を計上したためです。経常費用は、54,945,438円（対前年比 374,723円減）となりました。この結果、当期経常増減額が4,462,100円となり法人税を369,200円支払いました。

年々、法人運営会計が窮屈になってきますが、経費の見直しや新たな財源確保に向けて取り組みを強化していきたいと思っております。

（29年度助成金・補助金）

・厚労省キャリアアップ助成金	1,800,000円
・島根県商工会連合会出産後職場復帰奨励金	200,000円
・（公財）ごうぎん島根文化振興財団	100,000円
・JA島根地域支援金	100,000円